総務文教常任委員会資料

令和６年２月９日

教育委員会事務局　こども未来部
こども教育課

目　　次

社地域アフタースクールの基本設計について

１　設計の基本方針及び施設概要　・・・・　1

２　計画平面図（案）　・・・・　2

３　建築イメージ　・・・・　3

４　自動車と歩行者のルートについて（案）　・・・・　4

５　緑化計画（案）　・・・・　5

６　概略工事工程表（案）　・・・・　6

１　設計の基本方針及び施設概要

１－１　計画趣旨

現在建設中の社地域小中一貫校に隣接した下記の計画敷地において、社地域小中一貫校に通う小学生（１年生～６年生）の児童が利用するアフタースクールとして新設することを目的とする。

１－２　基本方針

① 児童と職員がより快適に活動できるような空間づくりを行う。

② 施設運営において、職員が管理業務の行いやすい動線計画とする。

③ 隣接する社地域小中一貫校との連携を意識し、近隣環境へ配慮した計画とする。

１－３　計画範囲

当該敷地は現在パッカー車車庫、中央防災備蓄倉庫及び消防団詰所、加東市職員駐車場として使用している。

中央防災備蓄倉庫及び消防団詰所は防災広場に新設し、下記の場所に加東市社地域アフタースクールを新設する。

１－４　施設概要

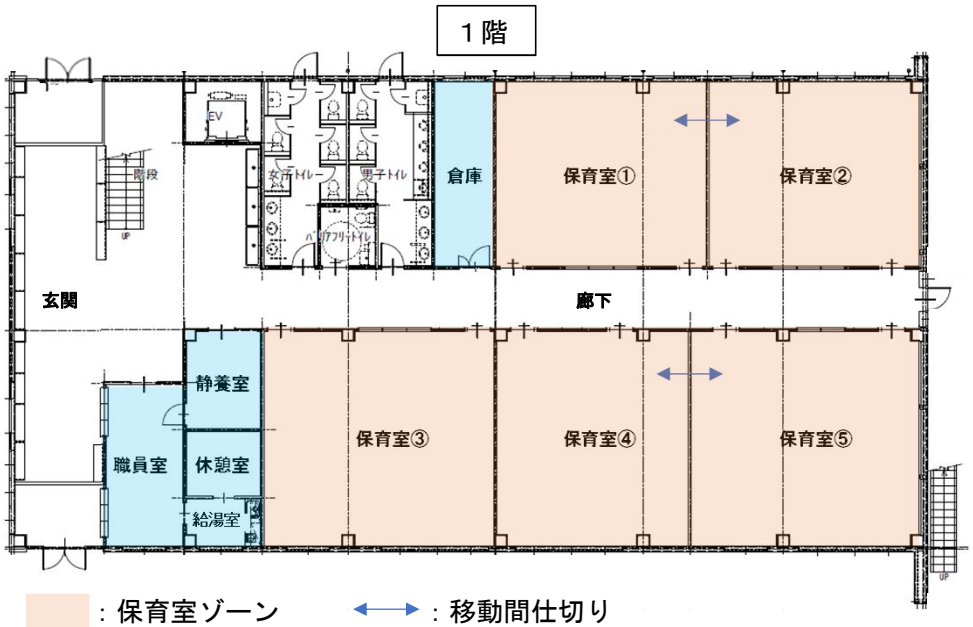
構　　造：在来鉄骨造　２階建て

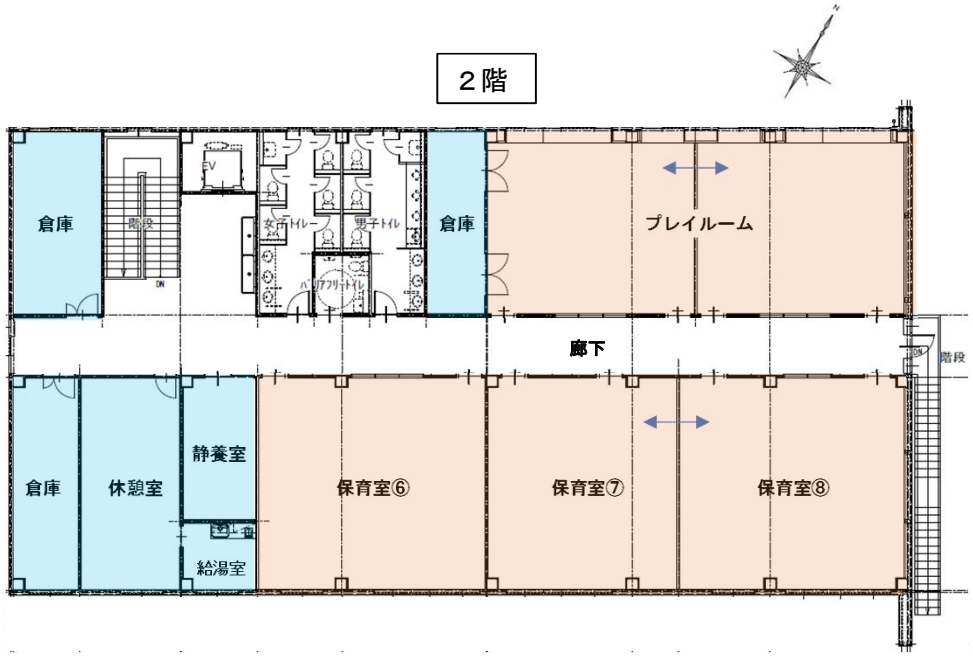
面　　積：延床面積約1,300㎡（建築面積約650㎡）

定　　員：240人（運用定員280人程度）

駐車場台数：35台（保護者用）

2　計画平面図（案）





：保育室ゾーン　　：移動間仕切り

：　管理ゾーン

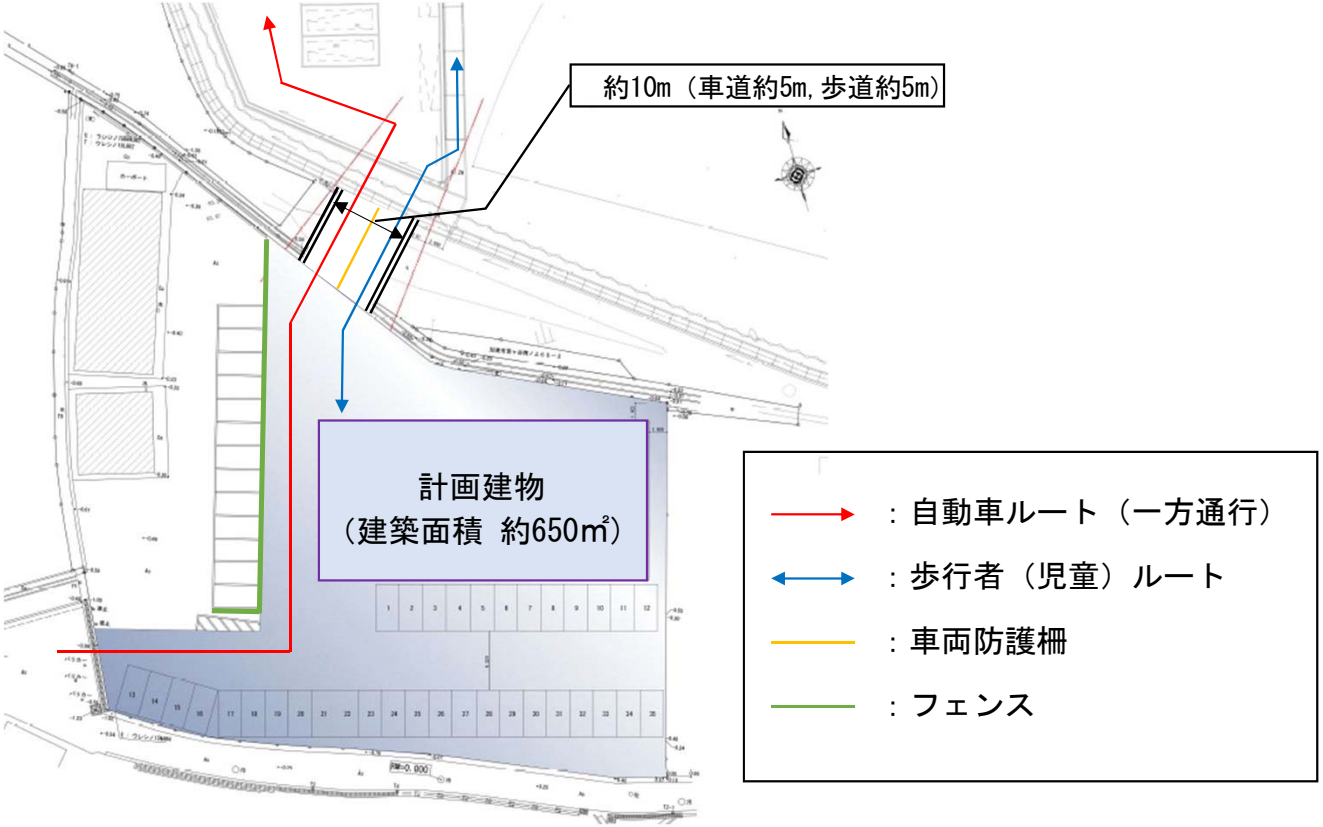
※基本設計段階の計画であり、今後変更となる場合があります。

・冷暖房負荷を軽減させるために、東西面の開口部を極力少なくし、南北面に開口を設ける。
・職員の利用動線を配慮し、保育室ゾーンと管理ゾーンを分けて配置する。
・社地域小中一貫校からの児童の出入りは玄関北側で行い、保護者や来客の対応は玄関南側で行うことにより、
　車路を通らずに安全な動線を確保できるよう計画する。
・将来アフタースクールの利用人数が増減した場合、柔軟に対応できるように一部保育室とプレイルームの間仕切壁を移動間仕切りとする。

３　建築イメージ

※基本設計段階の計画であり、今後変更となる場合があります。

4　自動車と歩行者のルートについて（案）

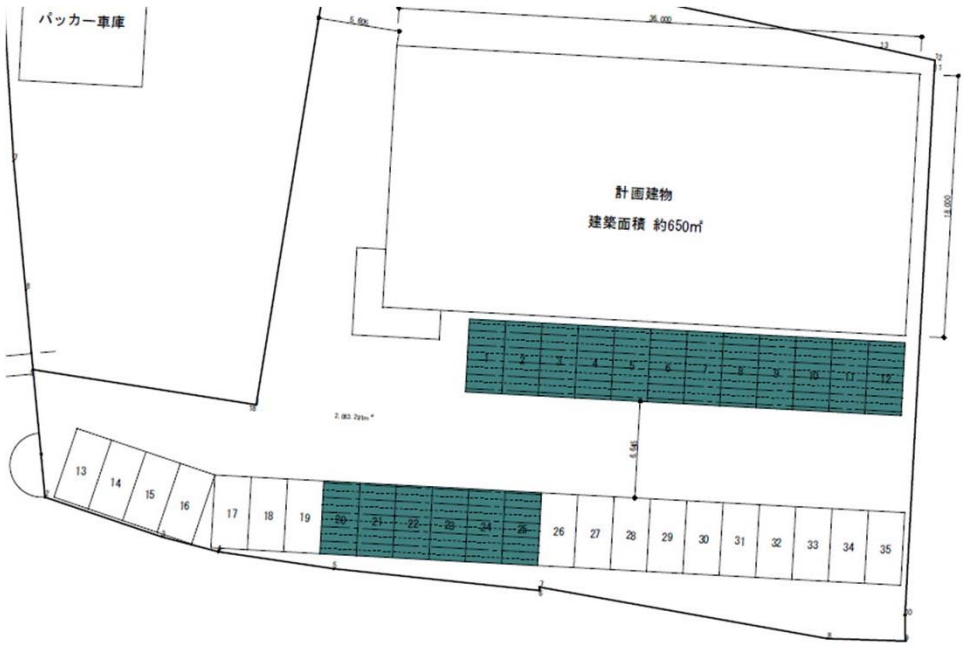


※基本設計段階の計画であり、今後変更となる場合があります。

５　緑化計画（案）

当該計画敷地が1,000㎡を超えているため、建築物の敷地の緑化義務が発生する。

駐車場の一部をグリーンパーキングとすることで必要な緑化面積を確保する。

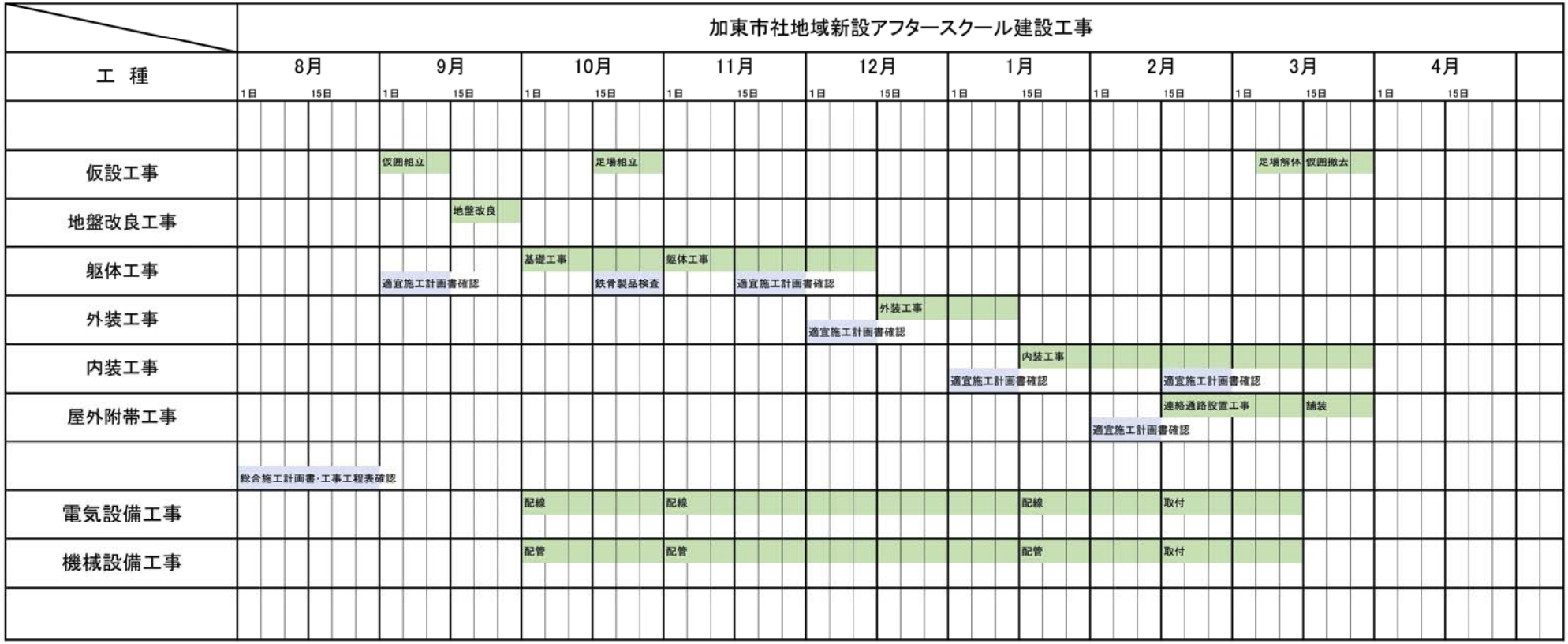


：グリーンパーキング計画箇所

グリーンパーキング　イメージ図

※基本設計段階の計画であり、今後変更となる場合があります。

６　概略工事工程表（案）



※基本設計段階の計画であり、今後変更となる場合があります。